

中山道大湫宿 旧森川訓行家住宅

国登録有形文化財



旧森川訓行家について

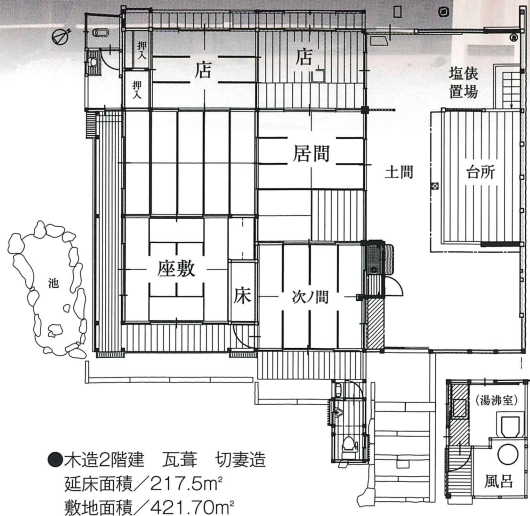
旧森川訓行家は、中山道大湫宿の北部に位置し、宿内の一族の中で各々を区別するために「丸森」と呼ばれた。旅籠屋を営んだほか、尾州藩の許可を得て塩の専売も行い、繁盛を極めたと伝えられる。

建物の概要

建物は江戸時代末期の建築と推察され、江戸の町屋形式をそのまま有し、当時の旅籠・商家の雰囲気をよく残している。昭和二十年代まで住居として使用され、一部に改修が加えられているものの、建物は建具類を含めてよく保存されている。

平成の修復工事

丸森は平成26年7月に旧所有者から寄贈を受け、平成27年12月から文化財としての価値を損わないよう、専門家の監修のもと、修復工事を行った。修復工事の過程で、瓦が葺かれた年代(明治14年)等が明らかとなったこと等から、明治時代中期の姿に修復することを基本方針(改変時期・内容の不明箇所は修復前の状態を維持)として、平成28年11月に竣工した。



【土間から居間を見る】 居間の板敷部分にはかつて囲炉裏が設けられていたとされる。



【座敷と床】 後世の改修が加えられているが、時期が不明なため、平成の修復工事では修復前の状態を維持した。



国登録有形文化財

中山道大湫宿

旧森川訓行家住宅

丸森

瑞浪市中山道観光案内所



アクセスマップ



〒509-6471 岐阜県瑞浪市大湫町445-2

- [開館時間] 9:00 ~ 17:00 (入館無料)
- [休館日] 12月28日 ~ 1月4日
- [問い合わせ先] 丸森(旧森川訓行家住宅)事務所
Tel.0572-63-2455

中山道大湫宿散策マップ

